



那須塩原市における気候変動適応の取組



那須塩原市 気候変動対策課 相楽尚志

2024年2月16日 オール東京62 第6回環境担当研修会

那須塩原市の特徴

【人口】 113,967人（2024年2月1日現在） 【面積】 592.74km²

栃木県の北部に位置し、東京都から150km圏の距離にあり、広大な那須野が原の北西一帯を占めている。市の面積の約半分を占める山岳部の多くは、日光国立公園となっており、初夏の新緑、秋の紅葉など四季折々の多彩な表情を持っている。特徴的な産業は農業及び観光業。

【農業】

「生乳産出額全国2位」の地位を築いている酪農や、ほうれんそう・大根などの高原野菜、食味ランキングで高い評価を受けている水稻、夏秋どりいちごなど、特色ある作物が生産されている

【観光業】

1200年以上の歴史がある塩原温泉郷、効能の高さから「下野の薬湯」として親しまれている板室温泉、那須野が原開拓に関する明治時代の歴史的遺産やスキージャンプ、牧場等、魅力的な観光地を有している



気候変動対策局（気候変動対策課）

平成31年	4月	渡辺美知太郎市長 就任
令和元年	12月	CO2排出量実質ゼロ宣言
令和 2年	3月	那須塩原市気候変動適応計画を策定
	4月	気候変動対策局 設置 那須塩原市気候変動適応センターの事務局
令和 4年	4月	局内に 気候変動対策課 を設置

■気候変動対策局（課）の業務

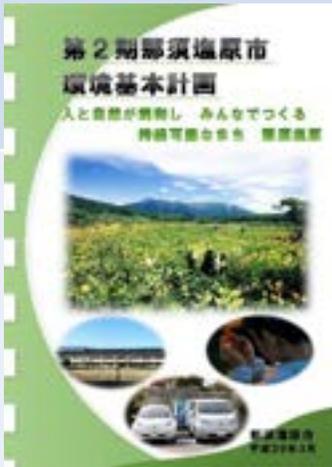
- ・ **気候変動適応に関すること**
- ・ 再生可能エネルギーに関すること
- ・ 地球温暖化対策に関すること
- ・ 脱炭素社会の構築に関すること

■気候変動対策局 職員数の推移

R2.4 3人 → R2.7 5人 → R3.4 8人 → R3.5 9人 → R4.4 10人

気候変動適応計画

◆ 既存計画と「適応」の関係

名称	第2期環境基本計画	地球温暖化対策実行計画【区域施策編】
策定年月	平成29年3月策定	平成25年6月策定 平成29年3月時点修正
「適応」に関する記載	<p>施策の1つとして、「地球温暖化の影響への適応策の研究及び普及啓発の推進」を掲げる</p> 	<p>策定時、時点修正ともに記載なし</p> <p>※次期改訂(令和3年度)において「適応」について盛り込む予定としていた</p> 

◆ 市長政策マニフェストについて

渡辺市長（平成31年4月就任）の政策マニフェストにおいて、
「地域から近年の気候変動に適応するための計画を策定します」が掲げられる



地域気候変動適応計画を単独計画として、令和元年度中の策定を目指す

策定マニュアルの活用

環境省が提供する地域気候変動適応計画策定マニュアル（手順編・ひな形編）を活用

地域気候変動適応計画策定の標準的な手順に沿って、情報収集の方法や記載内容等について解説

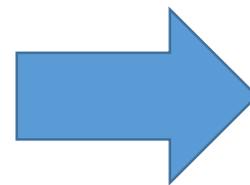
手順編に沿って収集した情報をひな形に記載することで、地域気候変動適応計画の素案が作成可能

地域気候変動適応計画策定マニュアル
—手順編—

平成30年11月
環境省

地域気候変動適応計画策定マニュアル
—ひな形編—

平成30年11月
環境省



那須塩原市気候変動適応計画

令和2(2020)年3月
那須塩原市

計画策定の流れ①

① 情報の収集【主幹課】（STEP1、STEP3）



○これまでの那須塩原市の気候・気象の変化

- ・ 平均気温、最高気温、最低気温
- ・ 夏日、真夏日、猛暑日、熱帯夜、冬日日数
- ・ 年降水量、短時間強雨・大雨発生回数

- ・ 気象庁の情報の活用
「過去の気象データダウンロード」
「気温・降水量の長期変化傾向」
※ダウンロードしたデータから長期変化傾向グラフを作成

○将来の気候・気象の変化

- ・ 平均気温、最高気温、最低気温
- ・ 夏日、真夏日、猛暑日、熱帯夜、冬日日数
- ・ 年降水量、短時間強雨・大雨発生回数、年最大日降水量
- ・ 降雪量、最深積雪

- ・ 地球温暖化予想情報第9巻
- ・ A-PLAT（特にWebGIS）の活用

○各分野の気候変動影響に関する知見

- ・ 国の影響評価報告書、A-PLATに掲載されている資料の活用

計画策定の流れ②

② 庁内説明会 → 影響評価調書作成【主幹課・関係課】（STEP2～6）



○対象 関係課（関連分野担当課）13課

○庁内説明会内容

- ・ 地域気候変動適応計画についての説明
- ・ 適応に関する情報のインプット
- ・ 影響評価調書の作成依頼

○影響評価調書

- ・ 各分野において既に生じている気候変動影響、将来予測される影響、既存施策の有無・対応力について、関係課の認識を記載
- ・ 本市における重大性、緊急性の評価を関係課が実施
※重大性、緊急性の評価には、国の気候変動適応計画における「重大性の評価の考え方」「緊急性の評価の考え方」を参考
- ・ 調書にはあらかじめ、国の影響評価報告書における記載内容や将来予測される影響について、主幹課の認識を記載
- ・ 作成分野については、国の影響評価報告書における小項目から27項目を抽出、調書を作成

※国の影響評価報告書において、現時点では研究・報告が確認できていない等の理由により、「現状では評価できない」としているものについては、対象から除外

計画策定の流れ③

③ 対策を進めるべき分野の整理【主幹課】（STEP4）



影響評価調書を作成した27項目について、本市の地域特性を考慮（以下の3つの観点）し、対策を進めるべき分野を整理

(ア) 国の影響評価報告書において、「重大性が特に大きい」、「緊急性が高い」、「確信度が高い又は中程度」と評価されており、本市に存在する項目

(イ) 上記には該当しないが、本市において気候変動によると考えられる影響が既に生じている、又は地域特性を踏まえて重要と考えられる項目

※ここで影響評価調書における関係課の評価を使用

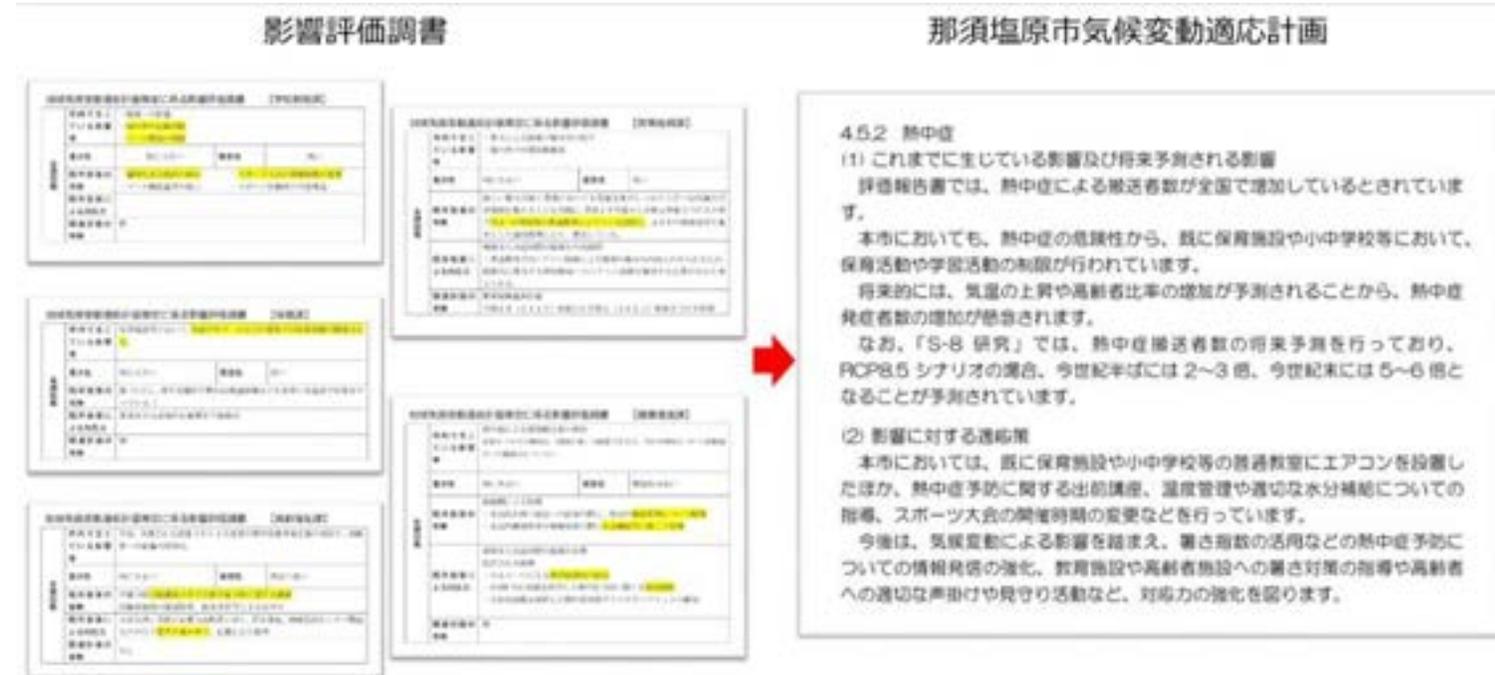
(ウ) 上記には該当しないが、新たに策定されたガイドラインにより適応策が必要な分野として位置付けられ、本市においても重要と考えられる項目

計画策定の流れ④

④ 適応策の整理【主幹課】 (STEP5、STEP6)



影響評価調書の内容を参考に、分野ごとの影響に対する適応策を整理



計画策定スケジュール

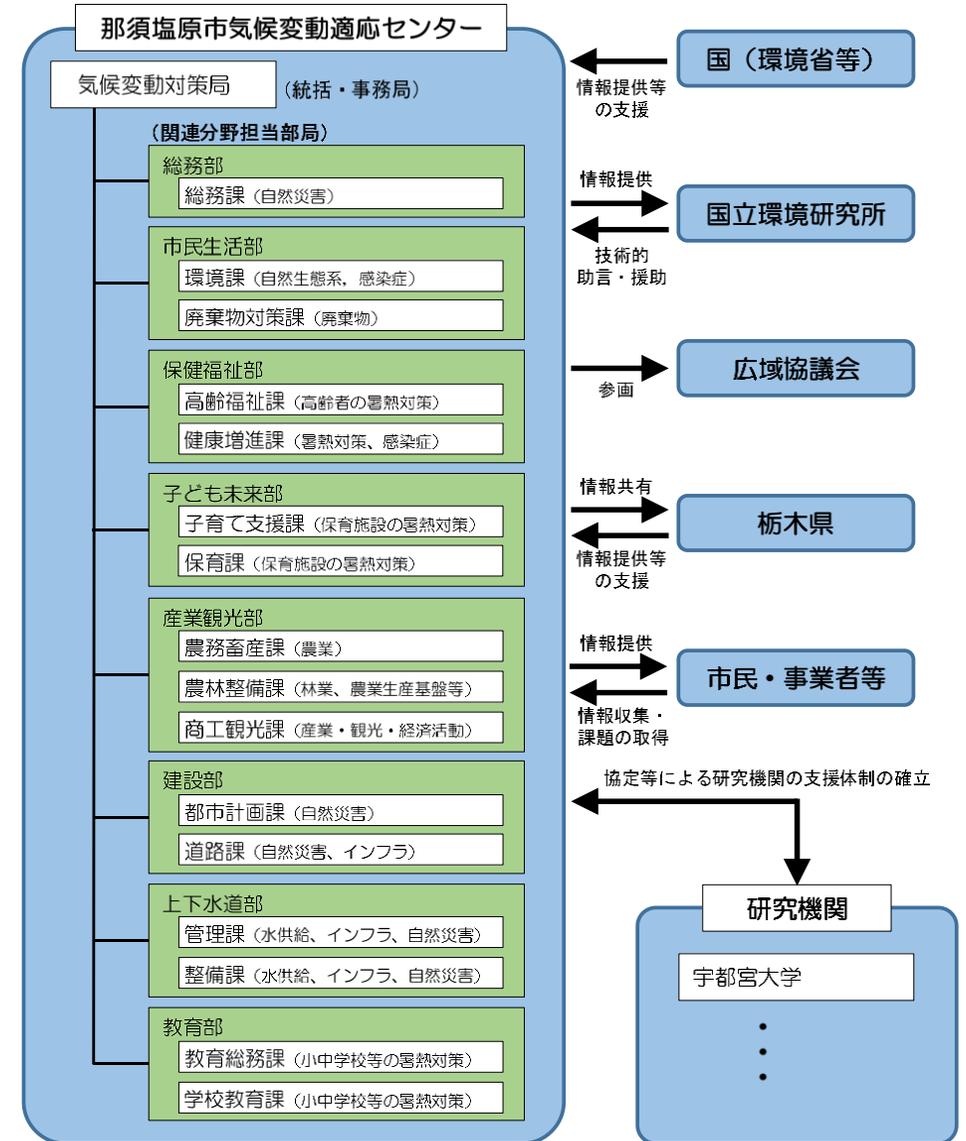
	令和元年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和2年 1月	2月	3月
主幹課	策定方針等の決定	情報の収集等								
				計画案作成				計画案修正		
				センターの方向性の検討			センターの方向性の決定			センター設置要綱作成
庁内調整		部長会議 計画策定について		庁内説明会の開催 (R1.9.25)	影響評価 調書作成			意見照会		
								庁議等		
庁外照会								意見照会 (環境審議会)		
議会									議案上程	議決

※那須塩原市では、議会基本条例により、計画の策定については、市議会の議決又は市議会への報告が必要

那須塩原市気候変動適応センター

- 令和2年4月1日
地域気候変動適応センター設置
市町村レベルでは全国初！
- 気候変動適応計画にセンター設置を明記
- 気候変動対策局を中心に庁内16の関係課で構成（**全庁型センター**）
センター長：気候変動対策局長
- 区域における気候変動に関する情報の収集、整理、分析、提供、技術的助言、その他気候変動適応に関する取組を全庁的に行う

【イメージ図】



適応推進会議

○令和2年4月28日 第1回会議開催

- メンバー（適応推進責任者：庁内関係16課の課長）
気候変動対策局が事務局
 - 内容
 - （1）市気候変動適応センターの方針及び役割について
 - （2）適応施策の推進に向けた取組について
 - （3）研修1 気候変動に適応した持続可能なまちづくりに向けて
 - （4）研修2 気候変動適応の基礎知識
 - 第1回会議は市長も参加し、記者に公開
（地元紙をはじめ4紙に記事掲載）
- ➡ 以後、継続的に会議を実施（年2回程度）

(2) 当面の方針

那須塩原市気候変動適応センターは、市民により近いところに設置されたセンターとして、地域に密着した活動を行うことが重要

市の基幹産業である農業分野や観光分野、また市の将来を担う子どもたちの教育分野における気候変動に対する適応策を重点的に検討、実践することなどにより、持続可能なまち那須塩原市の実現を目指す

Nasukubara city Climate Change Adaptation Center

適応施策の推進に向けた取組

- (1) 実態調査
- (2) 那須塩原市における気候変動の予測
- (3) 適応策検討
- (4) 気候変動適応推進会議の開催
- (5) 情報提供

Nasukubara city Climate Change Adaptation Center



市民参加による気候変動情報収集・分析事業

- 市民へのヒアリングや現地調査により**市民に身近な**気候変動影響を調査・分析、**地域に根差した**適応策を検討。
- 環境省から受託（基礎自治体として唯一）⇒ 宇都宮大学に委託（相互友好連携）

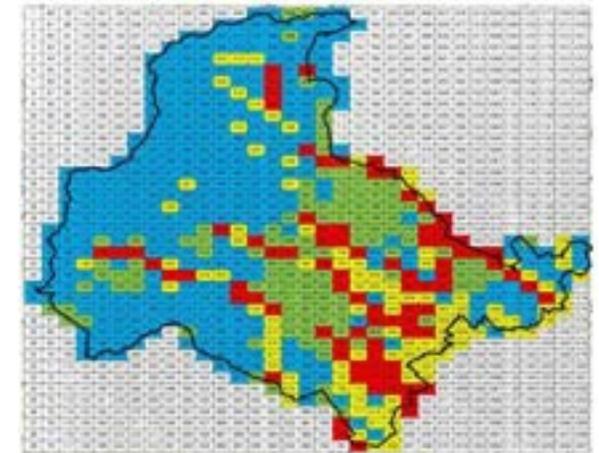
＜令和2年度＞
農業、観光業、防災、
教育、市民生活

＜令和3年度＞
農業（ハウレンソウ）、
防災（EbA）

＜令和4年度＞
防災（EbA）

2分野を重点的調査・分析

将来予測したリスクへの適応



市民参加による気候変動情報収集・分析業務

事業には**多くの学生**の参加を得て、気候変動影響に対応する**人材育成**に貢献

- ・ ヒアリングに学生が同行し、気候変動影響に関する生の声を体験
- ・ ワークショップでは、事前学習用動画作成や当日のファシリテーターを務める

■ワークショップ



学生による動画作成



学生がファシリテーター

■リーフレット

調査分析結果を現場や市民に**情報還元**



■市長への報告会

調査に参加した学生が感じたことを**市長と意見交換**



気候変動リスク分析事業

近い将来の、那須塩原市の**ピンポイント**の気候変動リスクを、世界最大級の気象情報会社である株式会社ウェザーニューズと連携し、分析

那須塩原市の **ピンポイント** 気候変動予測

気候変動は、市の産業や私たちの暮らしに大きな影響を及ぼす恐れがあります。気候変動に対応するために、私たちに出来ることを考えましょう。

2050年には栃木県南部と同水準の気温に…!

那須塩原市の年平均気温は、2050年には現在の栃木県南部と同程度、2100年には現在の東京都と同程度にまで上がる予測されます。

滝のように降る雨は最大で現在の2.5倍に増加…!

滝のように降る雨(年間総量50mm以上)は、2100年には現在の2.5倍の頻度まで増える予測されます。

8月はほぼ毎日が酷暑夜!?

那須塩原市の夏が一旦止まず、酷暑日、真夏日、酷暑夜が増える予測されます。

災害をもたらすような大雨も増加する…!

河川氾濫の恐れがある大雨の頻度は、最大で3倍以上に増加する予測されます。

● 国連気候変動枠組条約(国連気候変動枠組条約) (RCP2.6) ● 国連気候変動枠組条約(国連気候変動枠組条約) (RCP4.5)

このリーフレットは、気候変動への適応・緩和の推進に関する那須塩原市から発信している「ウェザーニューズ」が作成し、作成した。(2022年3月作成)

那須塩原市気候変動対策局
TEL: 0287-73-5651 FAX: 0287-42-7930
Eメール: nsh@city.nashu.lg.jp

気候変動への本市の取組状況はこちら
City.nshu

	2030年	2050年
 夏場の搾乳量	1% 減少 ↓	2% 減少 ↓
 ホウレンソウ収穫量	減少なし	4% 減少 ↓
 水稻収穫量	3% 減少 ↓	4% 減少 ↓
 ネギ収穫量	減少なし	1% 減少 ↓

大学・民間企業とのパートナーシップ



令和2年1月22日 協定締結

宇都宮大学との相互友好連携協定
協定項目のひとつに環境政策及び**気候変動適応の推進**に関することを位置付け

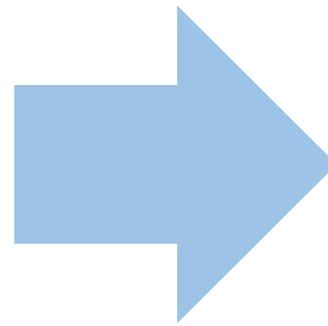


令和3年3月17日 協定締結

(株)ウェザーニューズとの気候変動への適応・緩和の推進に関する協定
同社との気候変動に関する協定は**全国初**

気候変動対策計画

- 改訂時期を迎えている**地球温暖化対策実行計画【区域施策編】**の改訂に合わせ、令和2年3月に策定した**気候変動適応計画**をより具体化し**一本化**



令和4年3月

CLIMATE CHANGE
Action for the future

Copyright © Nishinoori City. All rights reserved.

目次

1 計画策定の背景	3
2 本市の現状と課題	13
3 脱炭素社会実現を目指す緩和策	29
4 気候変動による影響への適応策	42
5 重点プロジェクト	49
6 計画の推進・進行管理	55

統合



気候変動対策計画（本市の現状と課題）

2 本市の現状と課題

2-3 本市における気候変動影響

① 市が実施した気候変動に関する調査

■ 市民参加による気候変動情報収集・分析

- ・ 気候変動の影響を把握し、対応策を検討するために宇都宮大学と連携して実施



図2-15 市民参加による気候変動情報収集・分析事業の様子

2 本市の現状と課題

2-3 本市における気候変動影響

① 市が実施した気候変動に関する調査

■ 身近な将来の気候変動リスク分析

- ・ 身近な将来の気候変動リスクを把握し、市民にわかりやすく提示するために実施

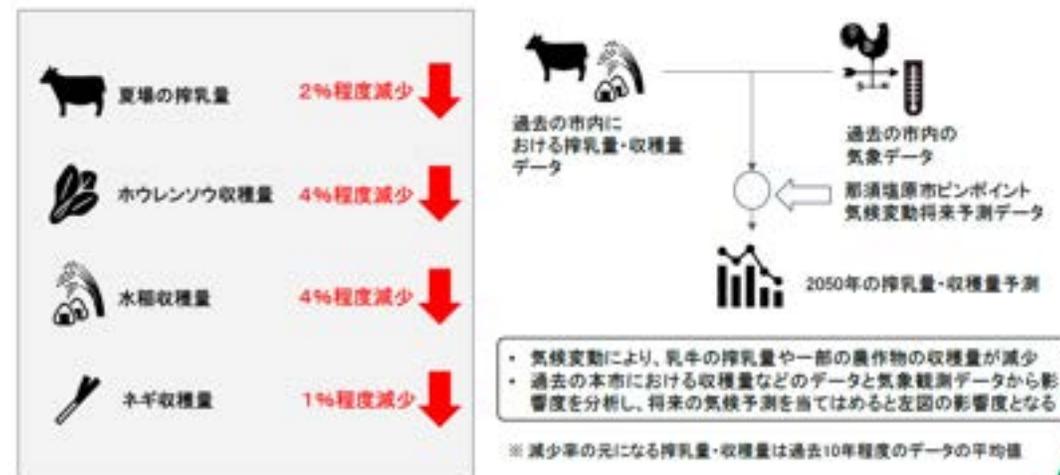


図2-16 2050年の気候変動リスク分析結果

気候変動対策計画（本市の現状と課題）

2 本市の現状と課題

Copyright © Iasuhobara City. All rights reserved.

2-3 本市における気候変動影響

② 国の適応計画の評価

- 以下の7分野について、気候変動の影響と適応の基本的な施策を整理

農業 水環境・水資源 自然生態系 自然災害・沿岸域
健康 産業・経済活動 国民生活・都市生活

- 気候変動の影響は、「重大性」、「緊急性」、「確信度」の観点から評価

③ 本市における適応策の分野

- 以下の3つの観点から、今後重点的に取り組む分野・項目を選定

- (1) 国の評価報告書において、「特に重大な影響が認められる(○)」、「緊急性が高い(○)」、「確信度が高い(○)又は中程度(△)」と評価されており、本市にも存在する項目
- (2) (1)には該当しないが、本市において気候変動によると考えられる影響が既に生じている、又は地域特性を踏まえて重要と考えられる項目
- (3) (1)、(2)には該当しないが、地方公共団体における廃棄物・リサイクル分野の気候変動適応策ガイドラインにより適応策が必要な分野として位置付けられ、本市においても重要と考えられる項目

2 本市の現状と課題

Copyright © Iasuhobara City. All rights reserved.

2-3 本市における気候変動影響

③ 本市における適応策の分野

表2-3 選定結果

【重大性】 ●:特に重大な影響が認められる
●:影響が認められる
【緊急性】 ●:高い ▲:中程度 ■:低い
【確信度】 ●:高い ▲:中程度 ■:低い

分類	大項目	小項目	国の適応計画の評価			本計画における適応策
			重大性	緊急性	確信度	
農業	農業	水稲	●	●	●	4(2)農業に及ぼす影響への適応
		野菜	●	●	▲	
		果樹	●	●	●	
		麦、大豆、飼料作物	●	▲	▲	
		畜産	●	●	▲	
		病害虫・雑草	●	●	●	
農業生産基盤	●	●	●			
水環境・水資源	水環境	水供給(地表水)	●	●	●	4(5)自然環境に及ぼす影響への適応
自然生態系	陸域生態系	高山・亜高山帯	●	●	▲	4(5)自然環境に及ぼす影響への適応
		野生鳥獣の影響	●	●	■	
	分布・個体群の変動	分布・個体群の変動	●	●	●	
自然災害	河川	洪水	●	●	●	4(1)自然災害による被害の防止・軽減
		内水	●	●	●	
		土石流・地すべり	●	●	●	
	その他	強風	●	●	▲	
健康	暑熱	熱中症・死亡リスク	●	●	●	4(4)健康に与える影響の把握と軽減
	感染症	節足動物媒介感染症	●	●	▲	
産業・経済活動	観光業	レジャー	●	▲	●	4(3)観光に及ぼす影響への適応
国民生活・都市生活	都市インフラ、ライフライン	水運、交通等	●	●	●	4(1)自然災害による被害の防止・軽減
		廃棄物	●	●	●	

気候変動対策計画（本市の現状と課題）

2 本市の現状と課題

Copyright © Hachioji City. All rights reserved.

2-3 本市における気候変動影響

④ 気候変動による影響

■ 農業

項目	影響
水稲	高温による白米熟粒、カメムシによる黒斑、長梅雨によるいもち病などの増加
野菜	高温による発芽不良、生育停滞、葉先枯れなどの発生
果樹	高温による生育不良や品質の低下
麦類	育成ステージの前進化による低温・晩霜害リスクの増大
大豆	播種時期の大雨による出芽障害と生育不良
飼料作物	収穫期の多雨による品質の低下
乳用牛	暑熱ストレスによる乳量・乳脂率の低下、発情の微弱化、乳房炎の増加、猛暑による死亡
鶏・豚	暑熱ストレスによる繁殖率の低下、猛暑による死亡
病害虫・雑草	冬季の気温上昇による越冬可能種の増加、温暖な地域からの新たな病害虫の侵入
農業生産基盤	積雪の減少によるダム貯水量の低下、井戸水の濁水による農業用水不足



■ 水環境・水資源

項目	影響
水供給(地表水)	積雪の減少による生活用水や農業用水の取水制限

■ 自然生態系

項目	影響
高山・亜高山	局地的な種の絶滅の懸念、移入種の定着による動植物相変化の懸念
野生鳥獣の影響	ニホンジカの生息域の拡大及び定着の懸念

27

2 本市の現状と課題

Copyright © Hachioji City. All rights reserved.

2-3 本市における気候変動影響

④ 気候変動による影響

■ 自然災害

項目	影響
洪水・土石流	洪水・内水氾濫の発生頻度の増加や大規模化の懸念、斜面崩壊発生確率上昇の懸念
強風	住家の一部損壊、倒木

■ 健康

項目	影響
熱中症・死亡リスク	猛暑による体調不良の増加、保育園・幼稚園・学校などにおける活動の制限
節足動物媒介感染症	気温上昇による媒介生物の生息可能エリアの拡大の懸念



■ 産業・経済活動

項目	影響
レジャー	夏季の冷房コストの増加、スキー場における人工降雪機の稼働日数の増加

■ 国民生活・都市生活

項目	影響
水道・交通等	大雨によるアンダーパス型立体交差の通行不能、水道の導水管の破損
廃棄物	自然災害の頻発による災害廃棄物の増加の懸念

28

気候変動対策計画（気候変動による影響への適応策）

4 気候変動による影響への適応策

Copyright © Hachioji City. All rights reserved.

4-1 基本対策と施策

市民が身近に感じる地域に根差した適応策

(1) 自然災害による被害の防止・軽減

取組の例

- ・ 地域防災計画の適切な運用
- ・ 避難所への自立分散型エネルギー設備の導入
- ・ 既存インフラ設備の適切な管理・更新による機能維持

(2) 農業に及ぼす影響への適応

- ・ 高温の影響を回避・軽減する栽培方法の普及促進
- ・ 畜舎内の暑熱対策や適切な飼養管理の促進
- ・ 豪雨、濁水の被害を回避・軽減する対策の促進

(3) 観光に及ぼす影響への適応

- ・ 観光客に向けた気象情報・熱中症予防情報の発信
- ・ 持続可能な観光マネジメントの推進

(4) 健康に与える影響の把握と軽減

- ・ 熱中症予防対策の啓発
- ・ 暑さ指数(WBGT)を活用した熱中症予防情報の発信
- ・ 感染症の発生を防ぐ対策の啓発

(5) 自然環境に及ぼす影響への適応

- ・ 野生動物相の変化の把握
- ・ 生態系を活用した適応策(EbA)活用の検討

43

4 気候変動による影響への適応策

Copyright © Hachioji City. All rights reserved.

4-1 基本対策と施策



(1) 自然災害による被害の防止・軽減

■ 目指す方向性

- ・ 市民の安全・安心を確保する自然災害対策の実施

■ 市が取り組む内容

主体	取組内容
市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域防災計画、避難行動要支援者保護マニュアルの適切な運用 ・ ハザードマップ、浸水実績マップの充実 ・ 避難所への自立分散型エネルギー設備の導入 ・ 雨水排水計画の見直し、雨水流出の抑制 ・ 既存インフラ設備の適切な管理・更新による機能維持 ・ 自然環境が有する保水、浸透機能の向上(グリーンインフラ) ・ 倒木のおそれのある危険な木の伐採等の強風対策 ・ 廃棄物処理、上下水道等のインフラ施設における業務継続性の確保



■ 市民や事業者に期待するアクション

主体	期待するアクション
市民・事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハザードマップ、浸水実績マップの確認 ・ 地域防災計画の策定、地域の実情に合った避難訓練の実施・参加 ・ 雨水浸透施設や水路の草刈りなどの日常管理 ・ 森林の適正管理



44

気候変動対策計画（気候変動による影響への適応策）

4 気候変動による影響への適応策

Copyright © Hasekubo City. All rights reserved.

4-1 基本対策と施策

(2) 農業に及ぼす影響への適応

■ 目指す方向性

- ・ 地域の実情に合わせた早めの対策による生産性の維持・向上

■ 市が取り組む内容

主体	取組内容
市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高温の影響を回避・軽減する栽培方法の普及促進 ・ 気候変動に対応した品種又は品目の普及促進 ・ 畜舎内の暑熱対策や適切な飼養管理の促進 ・ 病害虫や雑草の効果的な防除対策の促進 ・ 豪雨・洪水の被害を回避・軽減する技術対策の促進

■ 生産者に期待するアクション

主体	期待するアクション
生産者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高温に強い品目、品種の栽培 ・ 作付時期の見直し ・ ハウス栽培における換気、散水、遮光剤などの暑熱対策 ・ 畜舎内の散水・散霧、換気及び屋根散水などの暑熱対策 ・ 病害虫や雑草の発生状況の把握、防除時期・回数の見直し ・ 生産者自身の健康管理のため、農作業時間の変更や休憩・給水時間の確保



45

4 気候変動による影響への適応策

Copyright © Hasekubo City. All rights reserved.

4-1 基本対策と施策

(3) 観光に及ぼす影響への適応

■ 目指す方向性

- ・ 観光客が安心・安全に旅行できる「持続可能な観光地づくり」の実現

■ 市が取り組む内容

主体	取組内容
市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「那須塩原市版SDGsツーリズムガイドライン」による持続可能な観光マネジメントの推進 ・ 観光客に向けた気象情報・熱中症予防情報の発信 ・ 非常時の情報提供体制の強化

■ 事業者に期待するアクション

主体	期待するアクション
観光事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光アプリの観光客への利用促進 ・ 日陰等設置及び木陰やクールスポットの創出 ・ 気候変動に適応したアウトドアアクティビティの提案、提供 ・ 非常時の観光客への適切な情報提供



46

気候変動対策計画（気候変動による影響への適応策）

4 気候変動による影響への適応策

Copyright © Hasekubo City. All rights reserved.

4-1 基本対策と施策

(4) 健康に与える影響の把握と軽減

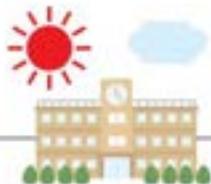


■ 目指す方向性

- ・ 熱中症や節足動物（蚊やダニ等）が媒介する感染症などの健康被害の防止・軽減

■ 市が取り組む内容

主体	取組内容
市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱中症予防対策の啓発 ・ 暑さ指数(WBGT)を活用したきめ細やかな熱中症予防情報の発信 ・ エアコン、扇風機、ミストシャワー、冷却タオルなどを活用した熱中症対策 ・ 学校における日常生活と運動時における熱中症予防指針の作成・周知 ・ 節足動物媒介感染症の発生を防ぐ対策の啓発



■ 市民や事業者に期待するアクション

主体	期待するアクション
市民・事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページやみるメールを活用した熱中症予防情報の入手 ・ 暑さ指数に応じた生活活動、子供や高齢者等への注意喚起 ・ エアコンなどの空調機器の適切な使用や、こまめな水分補給 ・ 蚊の発生を防ぐ対策の実施



47

4 気候変動による影響への適応策

Copyright © Hasekubo City. All rights reserved.

4-1 基本対策と施策

(5) 自然環境に及ぼす影響への適応



■ 目指す方向性

- ・ 自然環境や生物多様性の保全・再生
- ・ 無降雨日数の増加や積雪量の減少により発生する洪水被害の軽減

■ 市が取り組む内容

主体	取組内容
市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市域の野生動植物相の変化の把握 ・ 生態系に大きな影響を及ぼす外来種の防除 ・ 野生鳥獣害対策の推進 ・ 雨水利用や節水等の洪水対策の啓発 ・ 生態系を活用した適応策(EbA)の検討

■ 市民や事業者に期待するアクション

主体	期待するアクション
市民・事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市域の野生動植物相の変化の把握 ・ 地域の特性を踏まえた環境保全活動 ・ 森林の適正管理 ・ 雨水利用や節水等の洪水対策の実行

48

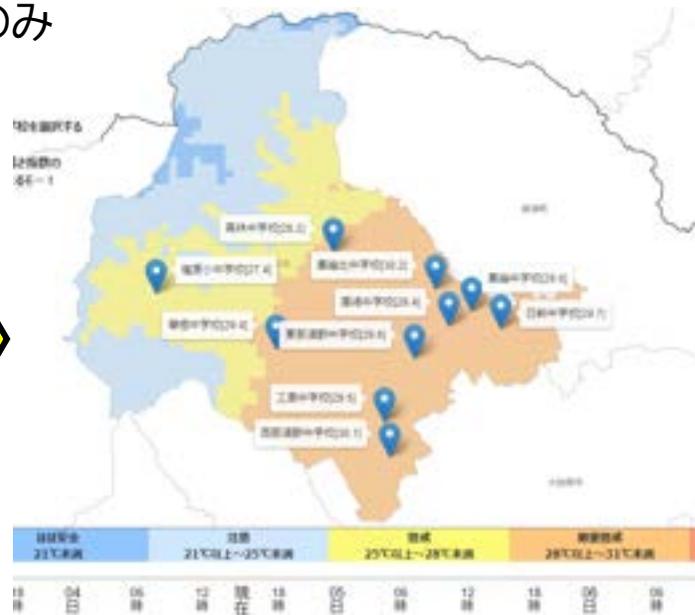
きめ細やかな熱中症予防情報の発信

- よりきめ細やかな情報発信を実現するためスマートライティング事業と連携

きめ細やかな熱中症情報の配信

<スマートライティング事業> R3環境省補助事業

広大な市域(593km²)に対し
近隣の暑さ指数実況は2地点のみ



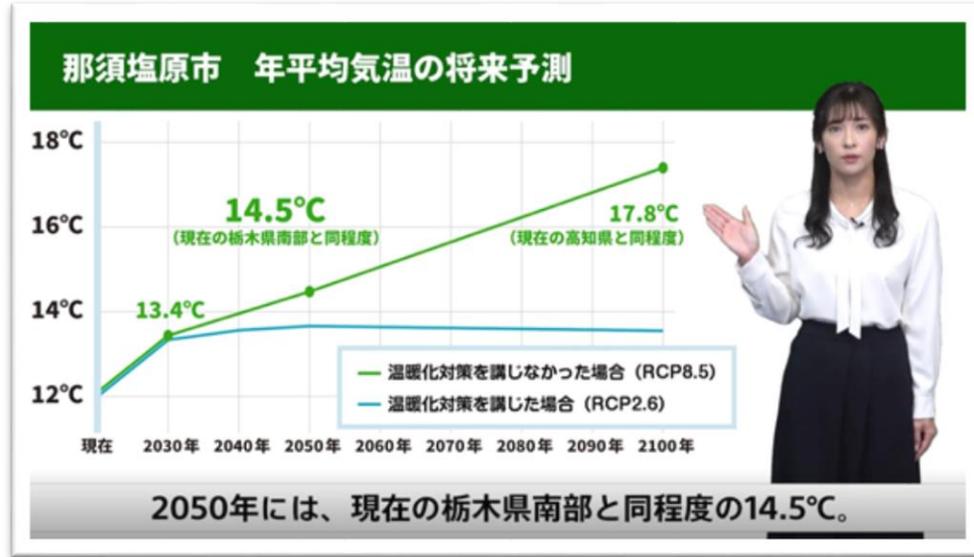
市内10か所（中学校区単位）に設置された
環境センサーを活用し、独自の熱中症情報を発信

- 道路灯のLED化、
環境センサーの設置、
ネットワーク化
- 道路等の遠隔管理、
太陽光発電量の予測
精度向上、きめ細や
かな熱中症情報の配
信等を実施

通信ネットワーク
により一元管理



普及啓発動画 ～気候変動に負けない那須塩原へ～



ウェザーニューズ社所属の
人気アナウンサーが那須塩原市の
気候変動を紹介

▶より**幅広い年代**（特に**若年層**）
に興味を持ってもらいたい

緩和策
減らす
温室効果ガスの
排出量を
地球温暖化の進行を
温室効果ガスの排出量を削減して
食い止めること。

適応策
備える
気候変動による
悪影響に
被害の回避・低減のために
気候変動による影響に対処し
備えること。

それぞれ進めていくことが重要なんです。



視聴はここから

気候変動の影響の把握と理解促進



気候変動を**自分事**
として感じてほしい

基礎自治体として何ができるのか

基礎自治体の悩み

- ・ 担当する専門部署がない
- ・ 専門知識を持つ人材がない
- ・ 何から取り組めばよいかわからない
- ・ 学術的な研究は難しい
- ・ 予算がない

基礎自治体の強み

- ◎ 住民に近い
 - ⇒ 住民の声を直接聴くことができる
 - ⇒ 地域の実情に合った取組ができる
 - ⇒ 住民と一体の取組ができる

基礎自治体の役割（那須塩原市としての考え）

気候変動を切り口として 地域課題を解決する

- ・ 基礎自治体が、地域の課題を拾い集める
- ・ 地域課題に対して気候変動の切り口でアプローチする
- ・ 国や県、大学や事業者の協力を得て、住民とともに課題を解決する

自治体職員の派遣研修の受け入れ

豊かな自然を満喫し、温泉を堪能しながら、先進的な気候変動対策の研修はいかがでしょう!!



研修内容

1. 脱炭素先行地域の構築
2. 官民連携による地域脱炭素化の取組
3. 地域住民に身近な適応策

ご清聴ありがとうございました



那須塩原市公式ホームページ



那須塩原市の気候変動の取組を
ふるさと納税でご支援ください！



那須塩原市 気候変動対策局 気候変動対策課

電話：0287-73-5651

E-mail：kikouhendou@city.nasushiobara.tochigi.jp